

(100%天然素材のバイオマスプラスチック)



こんなことができます!

高い生分解性を保持し、高い機械的強度を有し、かつコスト低減を図って、石油製合成樹脂との価格競争力を付けて商業化を実現した生分解性樹脂組成物を提供します。

【解決したポイント】

- ①竹を主成分とした天然素材100%であり、土中で生分解する。
- ②従来の常識を覆す製造方法の確立により安価に製造出来る。

【従来の問題点】

- ①従来のバイオプラスチックは、石油系のプラスチックが入っており生分解しない。
- ②従来の竹を用いた製品は、微粉末を用いて製造するため、目的の値まで粉砕するには非常に製造が困難であり、安全性の問題ならびにコストが高く商業化になっているものはなかった。

技術の概要

- ①竹を主原料として、全てを天然素材で構成する世界初のバイオマス新素材(竹の幹・枝・葉すべてを利用できる)。
- ②高精度な粉碎機および乾燥装置などが不要で、既存の破砕機・成形機・金型で生産できる。
- ③竹以外の天然素材(もみがら、間伐材等)も原料化が可能。

図・写真



ペレット



成形品(鉢)



観賞用鉢として利用



植樹風景 (鉢植えのまま植樹が可能)



発明者からのメッセージ

竹が繁殖し竹害が問題となっています。田舎にある竹等天然素材を資源として利用することにより、日本そして世界のイナカの産業を興し、豊かにしたい!!

ライセンス情報

- 1) 開放特許情報DB番号 / L2019002170
- 2) 特許番号 / 特許第6311294号 他2件
- 3) 公開番号 / 特開2015-096584 他2件
- 4) 出願番号 / 特願2013-249574 他2件
- 5) 出願日 / 2013.11.15
- 6) 発明の名称 / 「生分解性樹脂組成物およびこの樹脂組成物の製造方法並びに成形品」
- 7) 特許権者 / 株式会社ケイケイ
- 8) 代表発明者 / 内藤 邦武
- 9) 実施権許諾・譲渡種別

■許諾	□譲渡
-----	-----
- 10) 共同開発・研究の意思

■有	□無
----	----
- 11) サンプル提供の予定

■有	□無
----	----
- 12) 技術指導の意思

■有	□無
----	----
- 13) 実施実績

■有	□試作	□実験	□無
----	-----	-----	----
- 14) 事業化実績

■有	□無
----	----
- 15) 実施権許諾実績

□有	■無
----	----

連絡先

- 1) 所属 / 公益財団法人鳥取県産業振興機構
- 2) 担当者名 / 経営支援部 知的所有権センター 特許流通担当
- 3) 電話番号 / 0857-52-6722
- 4) E-mail / chizai@toriton.or.jp